小4理科 季節と生き物 No.1

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

なまえ

出席番号　　必要な人は書く

問1　秋になると、イチョウの葉の色はどのように変わりますか。

○ 紫色に変わる　○ 青色に変わる　○ 赤色に変わる　○ 黄色に変わる

問2　アブラゼミが鳴くようになるのは、どのような姿（育ち方の段階）のときですか。

○ さなぎ　○ 幼虫（ようちゅう）　○ たまご　○ 成虫（せいちゅう）

問3　オオカマキリがたまごを産むのは、どの季節ですか。

○ 冬　○ 夏　○ 春　○ 秋

問4　冬のヒョウタンのようすについて、正しいものはどれですか。

○ 葉やくきはかれるが、土の中に根がのこる。
○ 葉やくきはかれるが、土の中に球根がのこる。
○ 葉やくきは緑色のままで、冬も成長し続ける。
○ 葉やくきはかれ、実の中にたねがのこる。

問5　動物の活動が、夏にくらべてにぶくなる季節はいつですか。

○ 梅雨　○ 春　○ 秋　○ 初夏

問6　秋によく見られる昆虫の例として、正しいものはどれですか。

○ モンシロチョウの幼虫　○ アブラゼミの成虫　○ カブトムシのさなぎ　○ オンブバッタの成虫

問7　冬の気温と水温の変化について、正しく説明しているものはどれですか。

○ 気温は秋より低くなるが、水温は高くなる。
○ 気温は秋より高くなるが、水温は低くなる。
○ 気温も水温も、秋より高くなる。
○ 気温も水温も、秋より低くなる。

問8　ヘチマのたねをまくときに、約1cmにするのがよいとされているものはどれですか。

○ 植木ばちの高さ
○ たねをまく深さ
○ たねをまく時期（じき）
○ たねとたねの間（あいだ）の広さ

問9　ヒョウタンは、夏になるとどのようなようすになりますか。

○ くきがよくのび、葉がふえて花がさく。
○ くきはのびないが、根だけが大きく育つ。
○ くきがのびるのをやめ、葉がすべてかれる。
○ くきが細くなり、葉も花もすべて落ちる。

問10　季節による変化を調べるときに、生き物のようすを観察したあとに必ず行う大切なことは何ですか。

○ 別の種類の生き物に変えること
○ 観察した結果を記録すること
○ 生き物を家に持ち帰ること
○ 観察する場所を毎回変えること

問11　ヘチマのたねをまくとき、土のなかにうめる深さはどれくらいにするのがよいですか。

○ 約1cm　○ 約5cm　○ 約10cm　○ 約20cm

問12　春にくらべて夏は動物の活動が活発になりますが、その具体的なようすとして正しいものはどれですか。

○ 多くの動物が寒さで動けなくなる。
○ 春よりもえさを食べる量が減ってじっとする。
○ 動物たちが冬眠（とうみん）の準備を終えて眠りにつく。
○ 昆虫（こんちゅう）などが元気に動き回る。

問13　冬に多くの動物や植物がすがたを見せなくなるのは、まわりの環境がどのように変化するからですか。

○ 気温や水温が低くなるから。
○ 気温や水温が高くなるから。
○ 雨や風が完全に止まってしまうから。
○ 日の出ている時間がとても長くなるから。

問14　ナナホシテントウは、冬になるとどのように過ごしますか。

○ えさをたくさん食べる　○ じっとして過ごす　○ たまごをうむ　○ 元気に飛び回る

QRを 読んで 答え合わせ
答案を 撮って 自動採点
点数は マイページに ためよう